

上遠野町長 聞いてみた!!

上遠野 修(かとうのおさむ)

1978年9月20日生まれ。水戸市出身。
東京大学経済学部卒。建設会社、IT企業
勤務、衆議院議員政策秘書を経て現職。
「2人の娘が恋人」が口癖。



「ここで子育てしたい」といってもらえる町へ

茨城県の県都・水戸市の北西部に位置し、緑豊かな森林と那珂川をはじめとする清流に恵まれた美しい自然景観を有する城里町。

平成17年の合併以来、少子高齢化と人口減少が進んでいますが、県内最年少首長の熱意と戦略により、人口減少歯止めのきざしが見え始めています。

【多忙な業務の合間の子育ては大変ではないですか】

私には2歳と0歳の二人の娘がいるのですが、町長という職業柄、土・日も公務に費やすことが多く子供との時間があまりとれていませんが、その分、一緒にいられる時間を大切にしています。

城里町は自然が豊かで人もとても温かい。今は子供も大きくなって来ているので、一緒にいるときはできるだけこの町のいいところを伝え、触れるようにしています。

2人ともママの味方ですが、怒られたときだけはパパになつてくれます。(笑)

【城里町の子育て支援について】

全国的な傾向ではありますが、城里町も人口減少が進んでおり、特に若い世代の流出と出生率の低下が深刻です。非常に重要な問題と考えており、私自身が子育て世代ということもあって、子育て支援には特に力を入れています。

以前から、実際に住んでいる方からは、住みやすいという声をいただいていたのですが、具体的な施策をとりまとめた情報がなかったのになかなか伝わりづらかったと思います。

今年度は子育て支援策の紹介や移住定住のパンフレット作成に力を入れました。

子育て支援策の紹介パンフレットは町内に広く配布したところ、大変好評をいただいております。

保育園の待機児童もゼロで随時受け入れが可能です。あわせて、平成29年度から4・5歳児の保育料・授業料の無料化を予定しています。

多くの自治体では所得制限等の条件付きが多いと聞いていますが、城里町では所得制限無く1人目から無料化を実施しています。また、小学校の給食費は1,000円に値下げし、高校生の通学に係る経費についても助成をしています(詳細については5～6Pを確認ください)。これらの施策の効果もあり、昨年9月から社会人口が改善される状況となっています。

今後も子育て支援に力を入れ、子育てといえど城里町といってもらえるような町にしたいですね。

【城里町の教育について】

人口が少ないため、小規模の学校ということで、教育水準についての不安があるかと思いますが、文部科学省が実施した昨年のテストでは、町内の小中学校で学力・体力ともに全国平均を上回る数値が出ています。

文化的な取り組みにも力を入れており、昨年7月に、廃校になっていた旧北方小学校へいせきびあ茨城(茨城県埋蔵文化財センター)を誘致しました。また、東京都江戸川区の江戸川フィルハーモニーオーケストラによる公演を実施するなど、歴史と文化の町として育んでいるところです。

いせきびあ茨城

茨城県内の遺跡から発掘された出土品を整理し、保管・展示している施設。廃校となった旧北方小学校校舎を活用し、平成28年7月26日に開設されました。